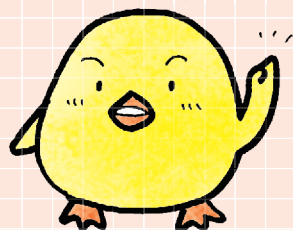


「福祉は権利」を支えるための提言

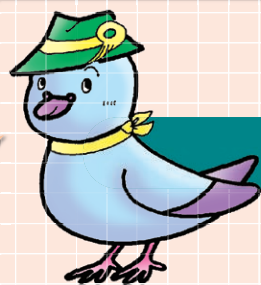
福祉保育労のめざす方向は

- 処遇改善**
《賃金・労働条件をよくして人材確保》
- 資格制度の改善**
《福祉労働の専門性を確保》
- 職員の増員**
《配置基準を引き上げて業務を軽減》
- 責任の明確化**
《国と事業者の責任を明確に》

これだけは緊急に必要だピヨ!



憲法25条は、福祉は権利で国の責任で定めてるのサ



福祉を受ける権利のために早急な施策を!

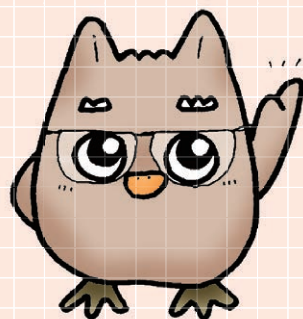
いまの制度の枠のなかですぐにできるちゃん!



ステップ1

- ◆福祉労働者の賃金の底上げを図る
- ◆自治体がおこなう事業所への指導監査で処遇改善を徹底させる
- ◆職員配置基準を引き上げ、正規雇用率を高め、長時間・過密労働を改善する
- ◆資格要件の緩和や職員配置上の無資格者の導入など規制緩和はしない

人材確保の方策を法律に明記して、しっかり改善させるんじゃ!



ステップ2

- ◆国・自治体の実施責任で時期を定めた処遇改善策を法制化する
- ◆公的な賃金の基準と正規職員を基本にした配置基準を定める
- ◆人件費率の最低基準を設け、事業主に最低限保障すべき賃金を守らせる
- ◆国は予算を確保した上で事業主に使途を限定させ、違反には罰則を設ける
- ◆養成機関の大学、専門学校などへの補助、学生の就学補助を創設する
- ◆社会人の資格取得費用の公費補助を拡大する

*福祉保育労「福祉労働者の確保と定着、養成に関する基本政策」(緊急提言)2014.10より

社会的に注目される2016春闘で

私たち福祉保育労は、国民の福祉要求に応えられる最低限の労働条件として、この春闘で「誰でも時間額200円、月3万円以上の賃上げを」などの統一要求を掲げています。経営者に実現を求めつつ、経営努力だけでは実現できない課題は、要求への理解を得て、力をあわせて国や自治体に制度改善と予算確保を求めているこうとよびかけています。大幅な処遇改善にむけて、労働者、経営者だけでなく、事業所の利用者・家族、地域住民のみなさんといっしょに声をあげていきます。

夢をつむぐ子育て支援

安心につながる社会保障

って言うのなら、

福祉の担い手、支えてよ! 大幅な賃金アップ↑労働条件の改善を

安倍内閣は、新「三本の矢」を重点政策として掲げ、「一億総活躍社会」を実現するとしています。

第2・第3の矢で保育所や介護施設を増設する方針ですが、保育士や介護職員などの担い手不足の抜本対策は打たれていません。賃金や労働条件が厳しいため、離職がつづいて応募がこないなど、福祉職場に負担が増えています。福祉労働の専門性を発揮するどころか、このままでは事業運営も危機的で、子どもたちや障害者、高齢者に十分な福祉を提供できない深刻な事態となってしまいます。福祉労働者の大幅な賃金アップ・労働条件の改善が必要です。

第一の矢

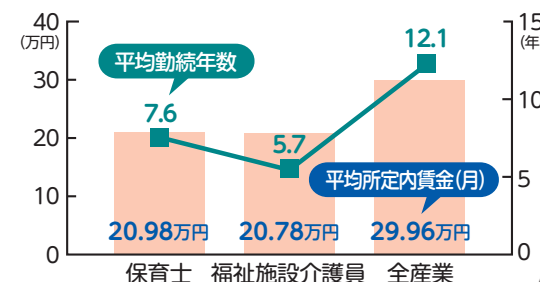
「希望を生み出す強い経済」で

「政府として過去最大の企業収益を踏まえた賃上げに向け働きかけを行う」↓

平均賃金
(月額)

全産業約**30万円**
福祉職約**21万円**

全産業平均と保育士・福祉施設介護員との比較



約9万円もの差があるピヨ!



厚生労働省・賃金構造基本統計調査(2014年)
税金などを引く前の所定内賃金(時間外手当などを除く)
福祉施設介護員とは、児童・障害者・高齢者施設で生活の世話や介護・介護をする者(調査の定義)

☆収益をあげられない福祉職場の賃上げには、国の予算投入が必要です。

第二の矢

「夢をつむぐ子育て支援」で

◆保育の受け入れ約**240万人**(2013年度)

5年間の拡大目標**40万人→50万人**に

◆保育所保育士数**38万人**(2013年度)

5年間で9万人増の**47万人**が必要に

☆対策に賃金アップが抜け落ちているので、施設を増やしても必要な人材が集まらない事態がさらに深刻になります。

第三の矢

「安心につながる社会保障」 =介護離職ゼロで

5年間の介護施設整備目標**38万人→50万人**に

約**181万人**の介護労働者
→5年間で**25万人**増へ

発行 全国福祉保育労働組合(福祉保育労) 2016.2

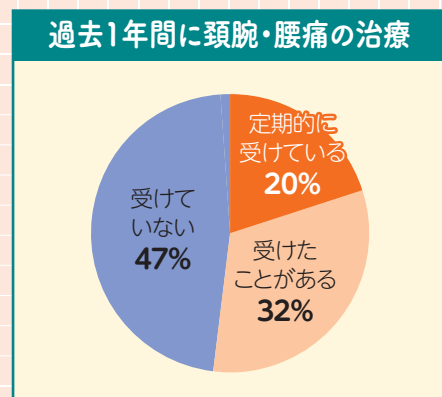
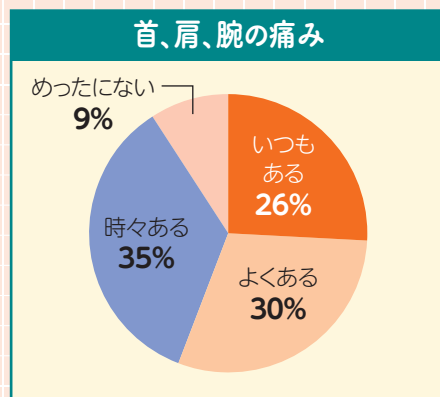
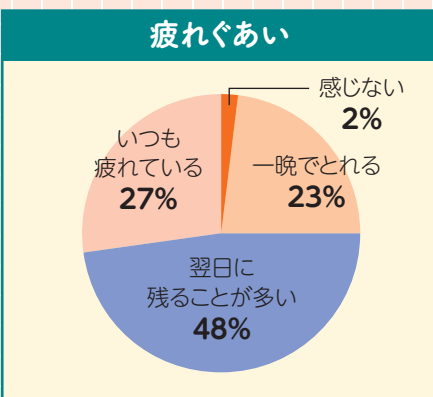
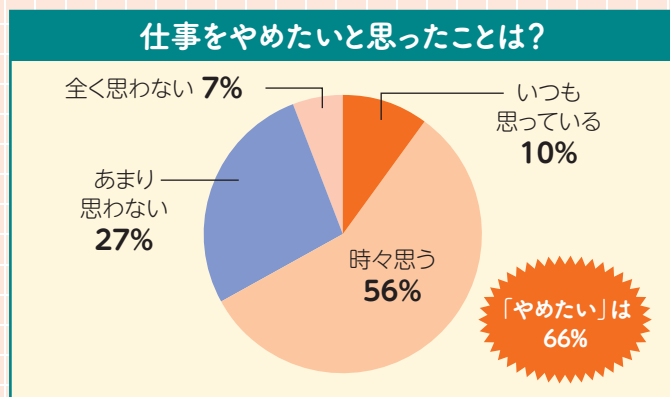
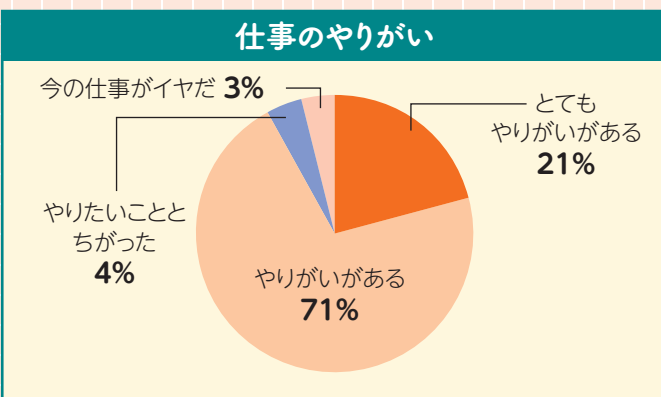
〒111-0051 東京都台東区蔵前4-6-8 サニープレイスビル5F-A

電話 03(5687)2901 FAX 03(5687)2903

ホームページ <http://www.fukuho.info/> メール mai@fukuho.org

福祉に働く人の3人に2人が「やめたい」 仕事にやりがいいっぱい! でも、心も体も生活もギリギリ

福祉の仕事に92%の人がやりがいを感じる一方で、「やめたい」と思う人は66%に…。賃金が低だけでなく、配置されている職員数が少ないなか、心身ともにギリギリの状態です。健康状態のアンケートでも、4人に3人が蓄積疲労傾向にあります。首・肩・腕の痛みは慢性的で、受診する人も少なくありません。



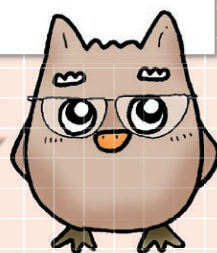
※「福祉職場で働く仲間の頸腕・腰痛やストレスアンケート」福祉保育労が2014年10～12月に実施、2,967人の回答を集計

仕事にやりがいを感じつつも、仕事量(事務・作務)の多さと保育士の少なさで、勤務時間内では終わることができません。家に持ち帰るのですが、子育てや家事を優先すると、仕事は夜中から明け方…月末など忙しい時は睡眠時間が2・3時間というのはあたりまえです。ですが、賃金は低いま…いつまで身体がもつかなあ?というのが本心です。《保育所》

職員数が増えたら、身体介護で手いっぱいではなく、生きる楽しみとしての余暇活動や外出など、高齢者の「普通の生活」を取り戻せます。細やかな対応と介護職員の「精神的ゆとり」で認知症が改善し、人権を豊かに守れます。新人研修に割く力を専門性の深化に注げます。心身を壊すこともなくなります。夜勤の回数が減り、社会的交流の機会が増え、健康を守ることができます。《高齢者施設》

慢性的に人手不足で、突発的に職員が休むことで一日の業務の負担がさらに増えてしまっています。悪循環でまた体を壊す職員が出てくる不安があります。ここ2、3年は、1年のうちに何人も退職し、職員の補充が追いついていません。書類等も家に持ち帰るか、手当のつかない残業になっています。《障害者入所施設》

福祉は「人」で成り立っている。心も体も健康で働くために職員がすぐに必要じゃ!



※「福祉に働くみんなの要求アンケート」福祉保育労が2015年秋に実施し、3,141人の回答を集計

職員の処遇の改善を! テレビ・新聞も大注目!

保育士が待遇改善訴え

除	計	控	引	支	給	額
39,760		68,210				
払	3	控	引	支	給	額
0				141,117		

28歳6年目で約14万円
これはフルタイムで働く保育士の給与明細です

福祉保育労などが開いた記者会見で示した資料も踏まえて「保育士が給与改善など訴え」と報道
2015.11.2 FNN(フジテレビ系)ニュース



NHK『週刊ニュース深読み』保育士不足を特集
低賃金のほか、重い責任と長時間労働、ストレスが要因と指摘
2015.12.19

神戸新聞社説

1億総活躍／選挙対策に終わらせるな

(2015.11.29)

『…介護サービスの拡充目標は、首相の指示で急ぎょ10万人分上積みされた。だが、介護職員は全産業平均と比べて賃金が低く、慢性的な人手不足が続く。職員を確保できずに入所者の受け入れを制限している施設もあるほどだ。施設整備が加速すれば、人材集めがさらに困難になるのは目に見えている。保育の現場も事情は同じだ。都市部では小規模保育などで定員拡大に取り組んでいるが追いつかず、保育士も足りない。今年4月の待機児童数は5年ぶりに増加に転じた。介護や保育の質と量を確保するには職員の待遇改善が最も効果的とされるが、今回の対策では触れなかった。安倍政権の本気度が疑われる。』

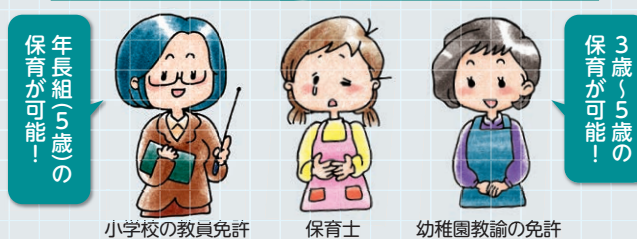
抜本対策を打つどころか… 政府がすすめるのは規制緩和

保育士不足の対策に保育士以外を?!

保育所で働く保育士は約40万人いますが、資格を生かして働いていない潜在保育士はその倍近い70万人以上います。

ところが政府は保育士不足の対策として、①朝夕の時間帯は保育士が複数ではなく1人と無資格者でかまわない②幼稚園や小学校の教諭資格を持つ人を幼児や年長の担当として職員数の3分の1まで保育士とみなせるなどの基準緩和を、4月からおこなおうとしています。

“保育士不足”を解消するための対策、これでいいの?!



小学校の教員免許

保育士

幼稚園教諭の免許

介護職員の処遇改善策も実感薄く

2015年4月に新たな処遇改善加算が創設されたものの、介護報酬が引き下げられたことで、当初約束された月額1.2万円の引き上げなどにはいたらず…。要支援1・2の高齢者に対して、専門職ではなくボランティアなどによる介護を推進する総合事業をすすめているほか、途上国の人材に技能・技術を取得してもらう目的の外国人技能実習制度を介護分野に解禁し、人材不足を補おうとしています。

人手が足りないからって、これでいいの?

